機関紙じちろう新年号

自治労中央執行委員長　石上　千博

明けましておめでとうございます。

昨年の春闘で５％を超える賃上げが実現する中、2024人事院勧告では３年連続で月例給・一時金の引き上げとなりましたが、続く物価高のもと個人消費は低迷するなど、私たちの生活は苦しいままです。物価上昇を上回る持続的な賃上げの実現が極めて重要であり、自治労としても秋の賃金確定期での公務員賃金引き上げにむけ、春闘期から取り組みを進めます。

一方、現場は慢性的に人員が不足しています。住民ニーズに対応し、安定的に公共サービスを提供していくためにも、必要な人員と財源の確保を強く求めていくことが必要です。その他にも、職場には様々な課題があります。これから2025春闘が本格化しますが、組合の交渉力をより強いものにしていくためにも、みなさんの声を、思いを、ぜひ組合に寄せてくださるようお願いいたします。

他方で、「政治とカネ」の問題を背景に国民の政治不信は最高潮に達し、昨年10月の衆議院選挙では、与党の過半数割れとの結果となりました。本年夏の参議院選挙は、国民・国会軽視の自民党一強の政治からの脱却、中道・リベラル勢力の拡大、さらには政権交代にむけた、極めて重要なポイントとなります。とりわけ、私たち地域公共サービス労働者の声を国政に反映させる、そして地方自治を守る観点からも、自治労の組織内候補である「岸まきこ」参議院議員を再び国会に送り出さなければなりません。

私も着実に一歩前に進むことができるよう、全力で取り組む決意です。ともにがんばりましょう。